

(事業記入ソフト事業)

八幡東区小学校 PTA 連合会

学校名 : 祝町小学校

事業名称 : 家庭教育学級 初心者向け親子アウトドア教室

【 ソフト事業 】

実施日時 : 令和4年 10/29 11/19 12/3 13:30-15:00

場 所 : 祝町市民センター

講 師 : NPO 法人 KID's work 大久保 大助さん (連絡先は市 P
協事務局へお問合せ下さい)

謝 礼 : 24,000 円 (8,000 円/1 回)

◇実施の目的

例年開催している家庭教育学級を、親子で参加できる内容に変更。親子のふれあいの時間を作るとともに、火おこしや料理の大変さを体験することで、普段の生活で当たり前前に享受している便利さが、有難いことだという学びにつなげ、感謝の心を育てる。また、火や刃物の危険性や安全な使い方、災害などで電気が使えない時にも使える、ビニール袋でご飯を炊く方法などを学ぶ。

◇事業の効果

近年人気のアウトドアを学べるということで、3 回とも満席となり、非常に盛況で、保護者同士の交流も生まれた。コロナ禍ではあったが、屋外での飲食・消毒などの対策をして、飲食を伴っての実施となったが、対策・工夫すれば実施できることを実証できた。また市民センターが校区外にあり、一部の保護者には普段あまり馴染みのない存在だったが、会場として訪れることで、認知が広がるきっかけにもなった。

◇事業写真 (数枚添付下さい)

◇事業を振り返って

例年は家庭教育学級の企画を文教委員会で会議を開いて検討計画し、開級式や閉級式も事前の日程調整や、案内状お礼状の発送など引き継がれたタスクが多かったが、形式的なものは省略し負担軽減を図ることで企画本体の準備に集中できたので良かった。

活動の様子

市民センターの裏庭で実施。恵まれた環境でした。



自分で薪を割って羽釜で炊いたご飯は格別でした。



毎回火おこしは必須。3回目にはすっかり上手に。



親子で同じ学び・体験をすることができました。



のこぎりの使い方を学びました。



ビニールでご飯を炊きました。



低学年の子どもも積極的に参加。





祝町小学校 令和4年度 家庭教育学級 ひまわり教室

初心者向け親子アウトドア教室



日時：10/29（土）11/19（土）12/3（土）13:30～15:00

場所：祝町市民センター 野外活動スペース ※雨天決行

講師：NPO法人 KID's work 代表 大久保 大助 先生

参加費：各回1組500円（保険代別途：お一人につき100円）

定員：各回5組（家族）※先着順事前申込制



今年度のひまわり教室は初心者向けのアウトドア講座を実施します！

マッチや小枝を使っての火起こし、メスティンなどを使った炊飯、薪割り、テントやタープの建て方などを学びます。

楽しむアウトドアの側面と、ガスや電気が止まってしまうなどの災害時にも役立つ要素を取り入れて実施します。

毎回、少しずつ内容を変えて実施しますので、全ての日程に申込可能ですが、1日だけの参加でも可能です。

※持ち物：軍手（綿100%のもの）汚れても良い服・靴、飲み物

※駐車台数に制限があるため、徒歩でお越しください



主催：祝町小学校PTA文教委員会・祝町市民センター
お申し込みは右記のフォームよりお願い致します
お問い合わせ：093-651-3816 祝町市民センター





□プログラム

1回目 10/29 火で「温める（あたためる）/炙る（あぶる）/燻す（いぶす）」

①火起こしの方法&火の使い方

火起こしの方法：薪（まき）組み

マッチを使っての火起こし

牛乳パックをつかっての火起こし

②起こした火を熾火（おきび）にして食材を炙って、燻って食べる

お湯を沸かしてラーメンを食べる

熾火をつかって、干物（ひもの）やウインナー、マッシュマロを炙って食べる

段ボールをつかって燻製（くんせい）をつくる（チーズなど）

③火起こしで知っておいてほしいこと

火の後始末 危険予知トレーニング

2回目 11/19 野外調理の方法「炊く」

メスティンでご飯を炊く（たく）

羽釜でご飯を炊く←薪ストーブを使用

お米の知識について学ぶ



3回目 12/3 キャンプの道具を知る「ダッチオーブン&テント」

ダッチオーブンを使って丸鶏を焼く

テント設営

（変更になる場合もあります）

